

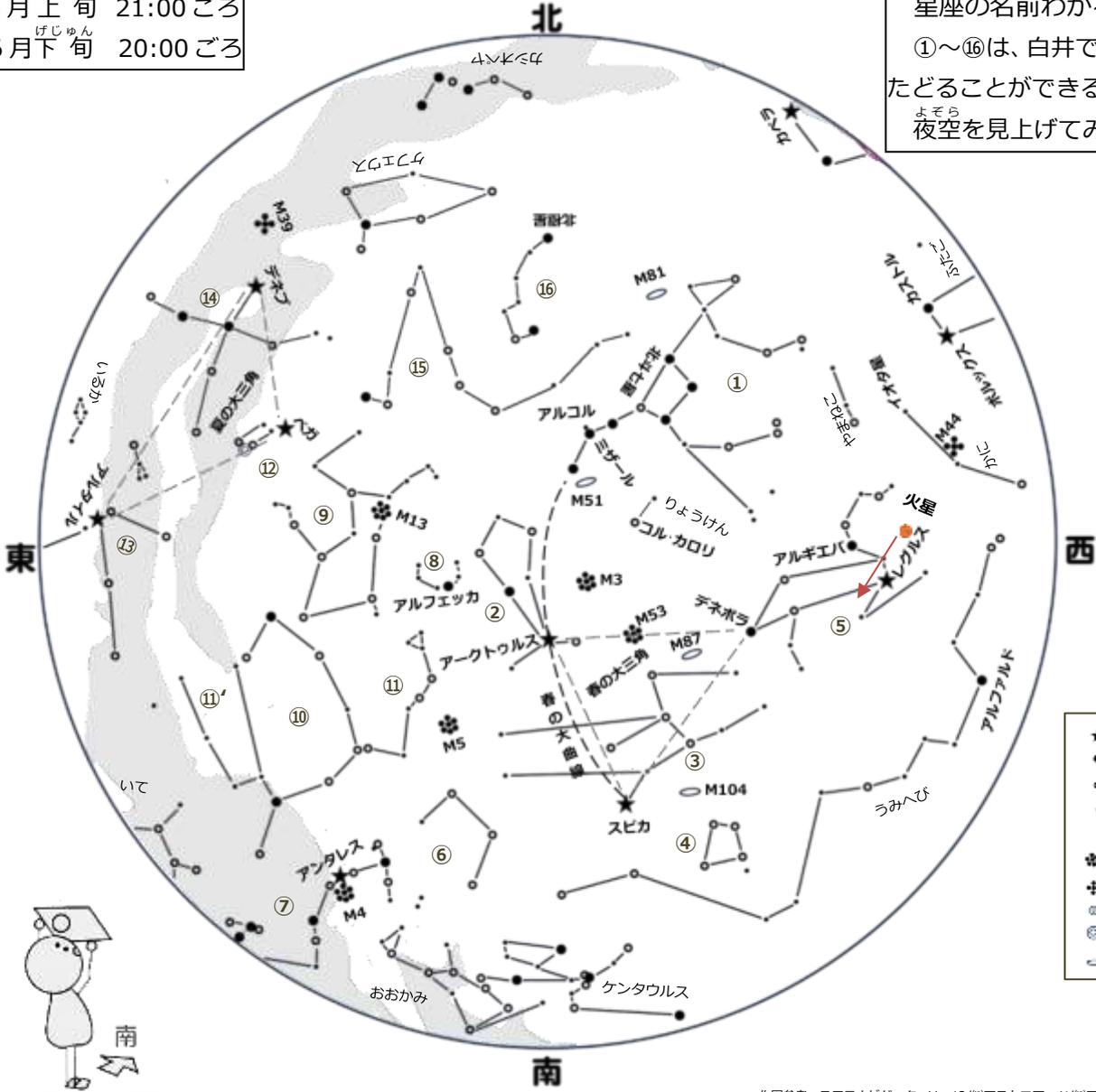
ほし 6月の星だより

しろいしぶんか
白井市文化センター・プラネタリウム
〒270-1422 白井市復1148-8
TEL 047-492-1125 Fax 047-492-8016
e-mail: planet@center.shiroi.chiba.jp



6月上旬 21:00ごろ
6月下旬 20:00ごろ

星座の名前わかるかな？
①～⑯は、白井でも星を結んで
たどることができる星座です。
夜空を見上げてみましょう。



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- ✳ 球状星団
- ✚ 散開星団
- ☉ 散開星雲
- ☁ 惑星状星雲
- ☾ 銀河

作図参考：ステラナビゲーターVer.12/簡アストロアーツ/簡アスキー

見たい方向(例えば星)を向き
この図を頭の上にかざす。
方位をあわせ、星を見つけろ。

- ①おおぐま ②うしかい ③おとめ ④からす ⑤しし ⑥てんびん ⑦さそり ⑧かんむり ⑨ヘルクレス
⑩へびつかい ⑪へび(頭) ⑪'へび(尾) ⑫こと ⑬わし ⑭はくちょう ⑮りゅう ⑯こぐま

肉眼で見える惑星(水星・金星・火星・木星・土星)の6月の位置

水星：6月下旬観望好機 宵 西天 低い -0.2等→0.3等	木星：太陽に近く見づらい
金星：未明 東天 明るい -4.3等→-4.1等	土星：未明 南東 1.1等→1.0等
火星：宵 西天 しし座 1.3等→1.5等	6/11 満月 6/25 新月

★星を見る会 予約不要 先着50人

7月19日(土)19:30～20:45 受付時間(19:05～19:25)を過ぎると定員に満たない場合でも入館できません

ドームでの星空案内の後、屋上で望遠鏡を使って星空観望会を行います。

球状星団 M4(さそり座)・M5(へび座)・M13(ヘルクレス座)、二重星 アルビレオ(はくちょう座)など

雨天曇天時は、ドームで観望会用星空解説(約45分間)となります

対象：小学生以上(未就学児の参加不可)

料金：白井市内大人 280円 白井市外大人 350円 市内外共通高校生以下無料

※6月の観望会はありません

6月のイベントピックアップ

星空ライブコンサート



わたなべ
渡辺かづき ジャズピアノ 6月28日(土)15:00 (80分間)

ジャズピアニストとして幅広く活躍する渡辺かづきさんのライブコンサートを
プラネタリウムドームで開催します。

渡辺さんは「Stargazer」や「Crescent Moon」など、星や月にまつわる多くの曲を作られています。その澄んだメロディーを星空の下でお聴きいただく
贅沢なひと時は是非お楽しみください。

今回はゲストヴォーカリストとしてふるみまやさんもお招きしています。

りようきん
料金：ひとり1,000円

6/1(日) 9時から、文化センター図書館棟3階窓口にてチケット販売開始

6/10(火)からは、電話での予約も受け付けます。

先着 86人(座席は全席自由です)

はんぷくしんせい ティ ちゅうもく 反復新星「かんむり座T星」に注目！！

宵の時間、空高く「かんむり座」が輝いています。かんむりを形作る7つの星は、2等星のアルフェッカ（アラビア語で「欠けたもの」という意味）を除くと4等星以下の暗い星の集まりです。しかし、暗い整った半円形が目につくためか、首飾り星、太鼓星、かまど星、土俵星等様々な名が付けられ、親しまれてきました。（参考「日本の星名事典」北尾浩一 著）

今、このかんむり座にある「T星」が注目を集めています。「T星」は、普段は10等星と、望遠鏡を使わなければ見えない暗い星ですが、約80年に1度星の表面で爆発を起こし2～3等星ほどの明るさになります。観測の記録が残るのは1787年、1866年、1946年の3回。そろそろ4回目の爆発が起きる頃です。

しかし、過去の観測データによると、2等星ほどに増光しても、3日ほどで一気に半分の明るさになり、一か月後には元の明るさに戻ってしまうとのこと。

この一生に一度の観望チャンスを見逃さないためにも、かんむり座の位置をプラネタリウムや夜空で確認し、SNS等での情報確認もおきましょう。

○印は「T星」の位置
→の先あたりに「R星」

写真提供：平野 岳史



実はかんむり座には、もう一つ有名な変光星「R」があります。「R」は、普段5.8等ですが、時折14等まで暗くなる珍しい星です。

5月のスナップショット 5/24(土) プラネタリウム100周年グランドフィナーレ



2023年から2025年の3年間、プラネタリウム100周年イヤーとして全国で様々な催しが行われてきました。その最後を飾るイベントの様子はYouTubeで配信中です。「プラネタリウム100周年グランドフィナーレ JPA」で検索してみてください。
全国の24館 プラネタリウム解説リレーに白井も参加しています

光学式プラネタリウムが誕生 そして一般公開されて100年目

中央の機械からドームに星や惑星を映し出すプラネタリウムのシステムは、今では私たちになじみ深いものですが、今から100年前、ドイツのCarl Zeiss社で設計・制作されるまでは全く想像にない斬新なアイデアでした。

1923年に最初のプラネタリウムの試運転がされると人々は「イエナ*の脅威」と驚嘆したそうです。*Carl Zeiss社の工場がある場所
そして1925年5月ミュンヘンのドイツ博物館で一般公開されるとたちまち世界に広がり、日本へは1937年大阪に国内初のプラネタリウムが設置されました。

今では日本は、プラネタリウム設置数がアメリカに次ぐ第2位のプラネタリウム大国です。



ツァイスI型プラネタリウム
画像提供 ZEISS Archive

しろいメール配信サービスに登録しましょう

右のQRコードで登録してください。
イベントの前にメールが届きます。

- ◎コンサート情報
- ◎イベント講座情報
- ◎文化センターイベント情報

